

未来

郵政産業ユニオン
PIWO

全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4490
24年10月18日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

被団協にノーベル 平和賞、半歩前進

おはようございます。

十二日、ノーベル平和賞に日本の被爆者団体協議会（被団協）が授与されると発表された。

私たちはこれ喜び、被爆者・二世の方々のこれまでの苦勞に思いを寄せ、今後も核廃絶をともにたたかうことを誓い合いたい。

さらにこのことを五年前に亡くなられた長崎被爆者手帳友の会代表だった井原東洋一氏の霊前に報告する。「厳しい世界だが半歩だけ進んだよ」との言葉を送りたい。

いま世界が核戦争で終わりを示す終末時計の一日を、時計の針で示すとして、一日の八万六千四百秒のうち、わずか九十秒しか残っていない危機の中にあるとされる。

人類の生存が、人類が作り出した核兵器（放射能）によって破壊される時代での、被爆者たちが世界に訴える「核廃絶」を、いま世界で大切な平和的



軍を削減、廃止し、各国間に仲裁裁判所を設けるに努力したものに授く」と遺言した。

ノーベルは二十九歳のとき、失敗の偶然の結果として、ニトログリセリンを砂に浸みこませた爆薬を発見し、ダイナマイトを作り出す。以降、これが世界中に兵器として広がり、戦争を一変させる。その後ノーベルは一八九六（明治二十九年）年

十二月十日に六十歳で亡くなる。

死後、彼の希望でノーベル平和賞などが設けられる。平和賞は「世界平和にもつとも有効に努力して、常備

なたたかいであると、権威あるノーベル平和賞委員会が認めた意味で、この受賞は大きい。

「ノーベル小伝」から。

では現代はどうか。核兵器での戦争はなくとも、敵国の原発を攻撃し放射能を世界にまき散らす、第二の核戦争が始まっている。

アメリカの前の大統領のトランプはイスラエルに「イランの核関連施設を攻撃しろ」という。またウクライナ侵攻も続けるプーチン大統領も「欧州の国はなぜかロシアが核攻撃をしないと誓っている」とのべ、脅しをかけている。彼らこそ



だから平和賞は彼の命日に特別に授与される。最初の授与式は一九〇一年（明治三二年）年、今から一三三年前である。

現在の好戦者「ナチズムのヒトラーである。劇作家・井上ひさしのベストエッセイに、「被爆した父と娘を描いて」がある。以下は一部だが引用する。「ヒロシマ、ナガサキは世界史がたとえ一億年続いたとしても、フランス革命やアメリカ独立戦争よりも重要な日付であり続ける。そしてその特別な

日付を刻まれた日本人が、戦争放棄を含む憲法によって、二〇世紀の人類の希望を背負わされた、と僕は考えている」と書いている。心にしみる言葉だ。そして「一人一人は六十億分の一でも、たくさん集まれば、力になると人々を励ます。」

していない。世界に背を向けて、被爆者を七九年間も苦しめた政治を変えないことは許されない。二〇一一年三月十一日、政府や東電が言う「想定外」の地震と津波で、福島原発が爆発し、多くの県民が故郷を追われた。原発にある放射能は十数年〜百万年も半減期が続き、被害が続くのだ。

これを受け日本はいまだに「原子力緊急事態宣言下にある」と「福島事故とオリンピック」を書いた小出裕章さんは批判する。誰がそんな先まで人類の安全を保障するのだろうか。

人類と核は共存できない。この立場で私たちはたたかいつづける。被団協に平和賞を送ったノーベル賞委員会への長崎の一市民、一被爆二世、三世の感謝の言葉だ。

※、写真上、被爆し保存されなかった浦上天主堂下。被爆した本博多郵便局。万才町の裁判所横の検察庁にあり、被爆者の谷口稜嘩さんが働き、配達先の住吉町で被爆。

一方、国や政府はどうか。広島で入院中の被爆者に「病は気から、根性があれば病気は逃げていく」と暴言を吐いた中曽根首相（当時）が良い見本だが、いまだに国連決議の核軍縮条約に参加を

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。
期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。めげず、均等待遇、なぐさみ差別！ ユニオンは労契法裁判に勝利すべし！